

科目名	投資教育論 Investment Education						
科目担当者	宮永 雅行 MIYANAGA Masayuki						
単位数	2	配当年次	1年	授業形態	講義	開講学期	前期
履修学部・学科 [区分]	経営学部・経営学科 [専門教育科目 専門科目]					ディプロマポリシーとの関連	(3)(4)
授業の概要	<p>自分の人生に必要な資金は自分で管理する時代になってきた。確定拠出型年金を導入する企業が増え、入社後、老後の年金のための運用コースを社員自らが選択し、その運用成果の違いが豊かな老後を送れるかどうかに関係してくる。その場合、良い成果を得たいと思うとそれだけ高いリスクも許容しなければならない。</p> <p>これからは投資するという選択だけでなく、リスク度によっては投資しない選択も重要である。よって収益の可能性だけでなく、投資のリスクについても正しい理解が求められてくる。授業では私が金融機関に永く在籍した経験を活かし、現実のリスクを具体的に説明することで、リスクへの理解を深めていきたい。</p>						
授業の到達目標	<p>本講義では投資に関して以下の順序で講義を進める。</p> <p>①まず、現実の世界経済の現状を時間をかけ説明することで、投資とは何かを理解する。</p> <p>②株式会社の仕組み、資金調達方法、証券市場の役割等を理解する。</p> <p>③株式と債券の特性や、分散投資、リスクとリターン等を理解する。</p>						
授業計画・内容	1	最近の投資環境を解説 (1) (政治・経済・社会の動きが株価や為替にどのような変化をもたらしているか)					
	2	最近の投資環境を解説 (2) ※前週の続き					
	3	最近の投資環境を解説 (3) ※前週の続き					
	4	会社とは何か (会社法にもとづくいろいろな会社)					
	5	会社が行う様々な資金調達方法					
	6	直接金融と間接金融					
	7	株主資本と会社の資産					
	8	株主の権利と責任					
	9	株式と株価のメカニズム					
	10	証券市場の仕組み					
	11	証券取引所の役割					
	12	証券会社の機能と役割					
	13	投資のための商品を解説					
	14	リスクとリターンの理解					
	15	まとめ					
授業外学修 (事前学修)	毎回、Moodle に事前に掲載した次回授業内容の PDF を熟読し、自分なりにノートにまとめてみる。(毎週 2 時間程度)						
授業外学修 (事後学修)	毎回、授業内容について要点を整理し、不明な個所を調べておく。(毎週 2 時間程度)						
成績評価方法・ 評価比率・到達 目標との対応	成績評価方法				評価比率		到達目標との対応
	定期試験 2 回の課題の提出				70% 30%		①②③ ①②③
成績評価基準	<p>秀：(評点 90 点以上) 到達目標を極めて高い水準で達成している場合</p> <p>優：(評点 80 点～89 点) 到達目標を高い水準で達成している場合</p> <p>良：(評点 70 点～79 点) 到達目標を一定の水準で達成している場合</p> <p>可：(評点 60 点～69 点) 到達目標を最低限の水準で達成している場合</p> <p>不可：(評点 60 点未満) 到達目標に達していない場合</p>						
教科書	資料						
参考文献							
その他	※この科目は、金融機関での勤務経験を有する教員が実務経験を踏まえて社会の形成に重要なものである投資について解説を行います。						